

分科会テーマ

“災害”の時代のリスクマネジメント

D:防災

「日頃からのリスクマネジメントと
災害時のハラスメント」

2022年6月4日

コーディネーター/アドバイザー

布柴靖枝 林智意

分科会80分の流れ

進行についての説明 / 布柴靖枝 (3分)

①パワポ資料の説明 / 林 智意 (12分)

②グループワーク (45分)

【課題】 【解決】 【提言案】

③グループワーク発表 (5分)

④提言案のまとめ(15分)

実際におこったこと ①

・阪神淡路大震災で、一人暮らしの80代女性が仮設住宅で亡くなった。

⇒知らない地域で暮らすのはイヤだと抵抗していたが、周りに迷惑をかけるからと、仕方なく仮設住宅に移り住む。その後4カ月ほどで、この女性は亡くなる。

実際におこったこと ②

・東日本大震災で、シングルマザーが泣きながら訴えた。

⇒子ども2人と3人で都市部から離れた仮設住宅に移り住むことになった。交通手段がないため、日用品の買い出しなどで、同じ仮設住宅に住む男性が車を出してくれ何かとサポートしてくれた。

お世話になったお礼にと夕食をごちそうしたところ、この男性から「感謝の気持ちがあるなら、身体で示せ。断ったらここにいられなくしてやる」と性行為を強要してきた。この女性は「自分は何も持っていない。拒否したら生活ができなくなるし、狭い仮設住宅のコミュニティで追い出された子どもを守れない。仕方なく応じた」と語ったあと、泣き崩れた。

実際におこったこと ③

仙台空港の震災の様子（動画2分）

（注意）震災の様子が流れますので、見たくない方は見ないでください。震災酔いをする場合があります。

<https://www.youtube.com/watch?v=mk68bZ70ls0>

災害が起きた時、一番被害の影響が大きいのは女性や子どもたちである。

身体的だけではない、経済的、精神的にも不当な力をすべて「暴力」という。

国は現状を理解しており、2020年第5次男女共同参画基本計画「第8分野 防災・復興、環境問題における男女共同参画推進」では基本認識でしっかりうたっている。

具体的な取組みとして、「避難所運営ガイドライン」「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の策定、そして災害現場の意思決定に女性が参画する重要性の周知を図っている。

第8分野：防災・復興における男女共同参画の推進（P73-76）

【基本認識】：要点は減災への取り組み

- ・ 自然要因（自然現象）
… 被害をコントロールできない
- ・ 社会要因（自然現象を受け止める側の社会の在り方：年齢、性別、障がいの有無）
… 男女共同参画の視点を取り入れれば被害を減らすことができる



減災、復興のKeyは女性の参画

※防災教育の対象として女性のみならず、子どもにも働きかけをするということ

ポジティブ・アクション の具体的な導入を提案

- ① すべての防災対策本部に女性メンバーが半数いること
ex) クォータ制の導入 50:50
- ② 参加しやすい防災訓練、ワークショップの実施により
女性リーダーを育成する仕組みを作る

災害時のアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を打破すること

- ・ 災害現場での女性の役割は炊き出し ⇒ 家事の延長ではない
- ・ 地域の特性が大きく左右する ⇒ 消防団、自治会は昔から男性で組織されているところが多いので、女性をメンバーに積極的に加える

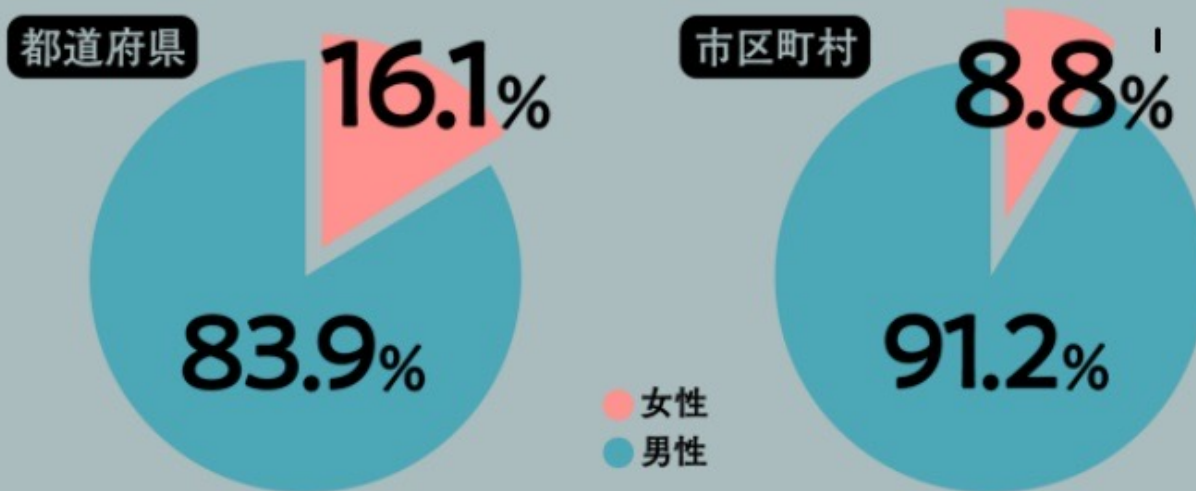


新しい価値観の刷り込みで女性の参画を促す。
それが「減災」

問題提起

- 地方防災会議の委員に占める女性の比率、3割達成にほど遠く

防災会議における女性の割合



女性委員が1人もいない自治体は21.8% (348市区町村)

グループディスカッション 16:25~16:35

その前に… ブレインストーミング

- 自助・共助・公助
- 共助がまったく追いつかないのはなぜ？

グループディスカッション 16:35～17:10

【課題】

- あらゆる暴力の排除
- 個人レベル（マイクロレベル）でできること
- 地域レベル（メゾマクロレベル）でできること
- 国・グローバルレベル（マクロレベル）でできること

【解決策】

【課題】に対して【解決策】を具体的に考える。

※キーワードをあげてもよい

グループごとに発表 17:10~17:15

【課題】に対して【解決策】を具体的に発表する。

※キーワードがあれば、それも発表

まとめ

17:15~17:30

提言に盛り込むキーワードは？